

市民講座Ⅰ

楽しく学ぶ古典～「とりかえばや物語」を読んでみよう～



<概要>

- 日時 第1回：令和5年6月3日「父大納言の悩み」
第2回：令和5年6月17日「二人の宮仕え」
第3回：令和5年7月1日「二人のその後」
- 会場 中央公民館
- 講師 近藤 早苗さん（「大人のための国語塾桜」主宰）
- 参加者 第1回：15人、第2回：16人、第3回：16人

<内容>

• 長い年月、人々に読み継がれてきた古典文学は、大人になり人生経験を積んでから読むと、学生時代に読んだ時より一段と面白く感じられるものです。この講座では、「とりかえばや物語」を読み解き、実は結構ジェンダーフリーでもありだった日本の古典文学についてのお話を聞きました。

<受講者感想>

- 久しぶりに古典の授業を受けた気分になり、学生時代を思い出して懐かしかったです。
- 「とりかえばや物語」を全文通して読んでみたいなと思いました。いつも関連の本などを紹介して下さるので「読んでみたい！」心をくすぐられます。楽しく受講できました。
- 古典が身近なものになり、図書館に行き、様々な本を読み始めました。新しい趣味ができて嬉しく思います。勉強することに飢えていたのでワクワクしました。またぜひ参加したいと思います。